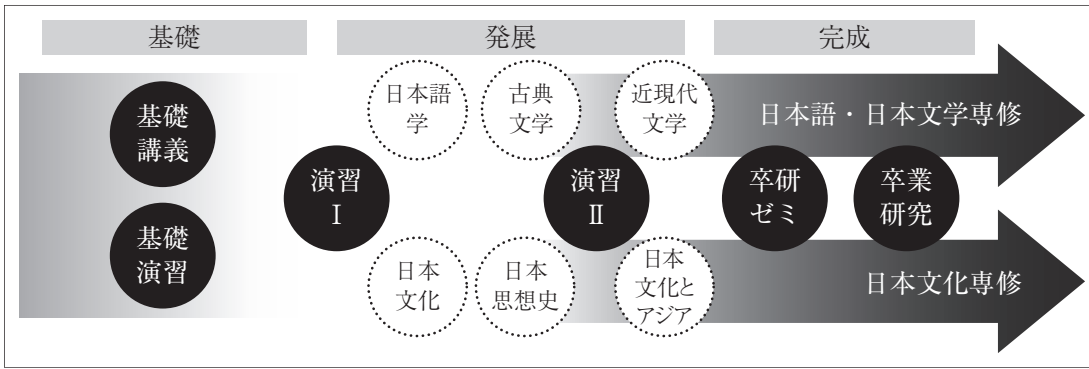


4. 日本語・日本文学科専門科目

【表1】日本語・日本文学科カリキュラム

区分	科目区分	1年次	2年次	3年次	4年次	備考
共通	基礎講義Ⅰ	日本語学	選択必修	選択必修		4分野各2単位（計8単位）選択必修。 3年次進級要件に含まれる。
		日本古典文学				
		日本近現代文学				
		日本文化 （漢文学を含む）				
	基礎講義Ⅱ	選択	選択			
	学科基礎演習	必修				専任教員全員で担当。
	日本語・日本文学科特殊講義		選択	選択	選択	
日本語・日本文学専修	日本語学研究		選択	選択	選択	
	日本古典文学研究		選択	選択	選択	
	日本近現代文学研究		選択	選択	選択	
	演習Ⅰ		選択必修			（日本文化専修の演習Ⅰを含めて）2年次に2コマ履修。 専任教員全員で担当。
	演習Ⅱ			選択必修	選択	
日本文化専修	日本思想史		選択	選択	選択	
	日本文化論		選択	選択	選択	
	日本文化とアジア		選択	選択	選択	
	日本文化と女性		選択	選択	選択	
	書道	書道Ⅰ	書道Ⅰ・Ⅱ	書道Ⅱ・Ⅲ	書道Ⅲ・Ⅳ	
	書道史	書道史	書道史・書論・鑑賞	書論・鑑賞		
	演習Ⅰ		選択必修			（日本語・日本文学専修の演習Ⅰを含めて）2年次に2コマ履修。 専任教員全員で担当。
	演習Ⅱ			選択必修	選択	
共通（卒業研究関連）	卒業研究ゼミⅠ			選択		一学年1コマ。専任教員全員で担当。
	卒業研究ゼミⅡ				必修	一学年1コマ。専任教員全員で担当。
	卒業研究				必修	

【図1】日本語・日本文学科カリキュラムの理念



日本語・日本文学科では、ディプロマポリシー（学位授与の方針）として、1「情報を収集し、読解・分析する力」、2「論理的かつ柔軟な思考力」、3「広く他に自己の見解を説得力をもって主張する力」、4「日本語と日本文学に関する専門性、日本文化に関する専門性」を掲げています。つまり、卒業の段階でこれらの力や素養を十分に身に付けてもらうことができるように、学科のカリキュラムを組み立てています。

■カリキュラムの柱——ディプロマポリシーの各能力を磨く科目群——

ディプロマポリシー各項目に関わる力を育てる基本的なプロセスは、【表1】の網掛けの科目群、および【図1】の黒丸で記した科目の流れに示されています。この科目群には「基礎講義科目Ⅰ」「学科基礎演習」「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」「卒研ゼミ」「卒業研究」の6種類の科目が含まれます。

- 「基礎講義科目Ⅰ」：1～2年次に置かれ、学科における各研究領域の入門編に当たります。高校までの学びと大学での学びの橋渡しとして各領域の基礎知識を学ぶ場です。
- 「学科基礎演習」：1年次後期に置かれる。前期の基盤教育科目「スタートアップセミナー」を踏まえ、学科としての学びの基盤となる、資料調査・発表・レジュメ作成・レポート作成などの基礎知識や技能を身につける場です。
- 「演習Ⅰ」：2年次に置かれ、やや専門的で具体的な課題に取り組みながら、「基礎講義科目Ⅰ」や「学科基礎演習」で学んだ基礎を発展させて「研究」に生かしてゆくための訓練をする場です。
- 「演習Ⅱ」：3年次に置かれ、参加者が各自の課題を設定して自力で調査研究し、その成果を他の参加者に対して「発表」する場、つまり、問題意識や方法論の訓練と同時に構想力や表現力・コミュニケーション力の鍛錬を行う場です。発表内容も「演習Ⅰ」より高いレベルが求められます。
- 「卒研ゼミ」：3年次の「Ⅰ」は選択、4年次の「Ⅱ」は必修。各自が「卒業研究」に直結するテーマを、これまでに培った知識と方法論とを傾けて可能な限り「専門性」を追求しながら、同時にそれを他の人々に対して十分な説得力を持つ形に（要するに「論文」の形に）まとめ上げるための、より高度な「表現技術」を研鑽する場です。「卒研ゼミ」をクリアした暁には（理想的にゆけば）、「卒業研究」がほぼ完成しているということになります。

■基礎段階 — 大学での学修の基盤づくり —

本学には、大学生としての基礎となる力や、社会に出て自己を実現してゆくための基盤となる素養を身につけてもらうことを目的とする、「基盤教育科目」が開設されていますが、それとは別に、学科の専門科目として、学科の学びの基礎を身につけるための「基礎講義科目」「学科基礎演習」を設け、「基盤教育科目」と合わせて本学科における学修の基盤形成の場として位置付けています。

1・2年次の2年間で多くの専任教員の担当科目が履修可能な「基礎講義科目Ⅰ」は、基盤形成の意味を持つと同時に、「卒業研究」に結びつく関心領域を見つけてゆくという目的も持っています。自分自身の関心領域については、できればこの1・2年次のうちにおおよそのところを絞り込んでおくのが望ましいでしょう。

1・2年次に4分野（日本語学・日本古典文学・日本近現代文学・日本文化）の「基礎講義科目Ⅰ」各2単位（計8単位）を選択履修し、さらに「学科基礎演習」を一つ履修することにより、自分の可能性と興味関心の対象を見極めるチャンスとしてください。（早い学年のうちになるべく多くの領域にわたる講義に触れておくことが、その後の方向選択を容易かつ余裕あるものにしてくれるでしょう。）

2年次にはひとまず「演習Ⅰ」を二つ選んで、自分の関心とその領域の研究内容がマッチしているのかどうかを確認してみてください。もしここで自分の選択が誤っていたことに気づいたとしても、その後の研究の方向修正は、卒業までの2年間で十分可能です。もちろんなるべくはそのようなことにならないよう、慎重に慎重を重ねてベストの選択をしてほしいと思います。

■発展段階 — 専門性を深める専修科目 —

本学科では、専門性を効果的に深めるための道筋として「日本語・日本文学」と「日本文化」の2専修を設けており、2年次から、自分がどの分野・領域で研究を進めてゆくか、選択する専修を絞り込んで行くことになります。

2年次の「演習Ⅰ」から専修ごとに分けて置かれていますが、2年次の段階ではまだ選択する専修が決定していない場合が多いでしょう。その場合でも自分が進む専修をある程度意識して選択するようにしてください。

専修は、最終的には3年次末の「卒業研究」仮題目届提出時に決定することになりますが、あらかじめ3年次の初めに、いずれかの専修を想定して履修計画を立ててください（それに従って必要単位が揃うように科目を選択し、「演習Ⅱ」や「卒業研究ゼミⅠ」を選択履修します）。

専修科目は、講義科目（日本文化専修は「書道科目」を含む）と「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」からなり、講義科目は、担当教員による研究成果を含むそれぞれの分野の先端知識が、いわゆる「講義」形式で提供される形の授業が中心になります。この専修科目を通じて、自分が選択する分野・領域に関する知識や問題意識、方法論などを学び取ることにより、より高度な専門性が身につけられるでしょう。

また文学部では、他学科で開講される様々な科目も、学科・分野の垣根をこえて選択履修できる体制を整えています（一部、指定の条件を満たさないと履修できない科目等もあります）。これは、各学科が専門教育を目的として開く講義ですから、それぞれの分野を専門とする担当教員による最先端の知見と独自の метод論を傾けた講義内容を吸収することができます。こうしたバラエティ豊かな他学科開講科目を通じて他分野の専門性にもふれ、広い視野や様々な問題意識を身につけてください。

■完成段階 — 卒業研究関連科目 —

「卒研ゼミ」は3年次から受講できますが（3年次は「卒研ゼミⅠ」）、この「卒研ゼミ」を履修するためには（「卒研ゼミⅠ」「卒研ゼミⅡ」いずれの場合にも）、「演習Ⅰ」1科目（4単位）をあらかじめ単位取得しておかなくてはなりません。3年次終了時にいずれかの「演習Ⅰ」を修得していない場合には、4年次必修の「卒研ゼミⅡ」が受講できないことになり、その段階で留年が確定してしまうことになるので、この点は十分に注意してください。

この条件を満たした上で、4年次には、いずれかの「卒研ゼミⅡ」を選択し、「卒業研究」をまとめることになります。

「卒業研究」は専修での学びを通じた専門教育の成果という性格をもつものではありませんが、本学科では、これをあえて専修科目に含めず、「共通」の枠組みに入れてあります。これは、高度な専門性を極める中で、広く応用できる汎用的能力を育てるという学科の考え方に基づくものです。一つの専門分野を追求する経験を通じて、職業の場など、生涯の中で出会う様々な専門分野の知識や技能への「アプローチの仕方」を身につけ、情報社会においてみずから問題を発見し解決してゆくための汎用的能力を鍛え、しっかりと自分のものにしてもらいたいと考えています。

■卒業単位構成

以上の説明をもとに一人ひとりが独自のカリキュラムを設計してください。それに従って取得した単位数が、最終的に下の【表2】に示した卒業要件を満たすようになっていればよいのです。

【表2】卒業に必要な単位数

学科専門科目	基礎講義Ⅰ	選択必修	日本語学	2単位以上	8単位以上
			日本古典文学	2単位以上	
			日本近現代文学	2単位以上	
			日本文化 (漢文学を含む)	2単位以上	
	学科基礎演習	必修	2単位		
	演習Ⅰ	選択必修	4単位以上		
	演習Ⅱ	選択必修	4単位以上		
	卒業研究ゼミⅡ	必修	4単位		
	卒業研究	必修	4単位		
	その他	選択した専修から8単位以上*			28単位以上
選択しない専修から4単位以上					
区分に関わらず16単位以上					
基盤教育科目	建学の理念科目	必修	キリスト教概論	2単位	24単位以上
		選択必修	その他	2単位以上	
	スタートアップセミナー	必修		1単位	
	教養実践科目	必修	キャリアデザインⅠ	1単位	
		必修	データサイエンス基礎Ⅰ	2単位	
	教養コア科目	選択必修		4単位以上	
	外国語科目	選択必修		8単位以上	
その他			4単位以上		
自由選択				46単位以上	
合計				124単位以上	

* 選択した専修からの必要修得単位数は、選択した専修の「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」のいずれかを修得していない場合は12単位以上、いずれも修得していない場合は16単位以上となる。

※教職に関する科目は、指定された科目のうち8単位まで自由選択単位として算入できる。

※他学部学科専門科目及び協定校修得科目（本学教育課程表外の科目）は、合わせて12単位まで自由選択単位として算入できる。